

## 15 制限の中で



まだ半数とはいえ、登校の子どもたちと「おはようございます」のあいさつが交わせるようになって1週間ほどが過ぎました。集団登校は来週からなので、ぼつぼつと登校してくる子たちと一言ではありますが、言葉を交わせることのうれしさを、改めて感じる事ができました。来週からは、予定通りであれば全員登校。登校班も復活し、またまた学校に活気が戻ってくることでしよう。登校の際には1列歩行、これまでよりもやや距離をあけながらと、登校班の保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。

校舎内を回ってみると、間をあけた座席に子どもたちが座り、学習をしています。先週今週はどちらかといえば、臨時休業期間中に出した課題の確認が主となっています。そんな中ではありますが、例えば1年生は少人数に分かれての校内の探検(従来でしたら手をつないでという形ですが、今年はそうもいきません)や2年生は野菜作りのための畑作業、こちらも順番を守って距離をあけながら。3年生は町の様子を屋上から、友達と友達の間隔を十分にとって、眺めるなど、それぞれの学年で3密を避けながらの「活動を伴う学び」がつくられ始めています。

制限のある中でも“こうした工夫をすれば”“ここに気を付けながらならば”と、先生方は事前に何度も確認をし、試行錯誤を繰り返しています。来週、一斉登校となった際にはさらに学級づくり・学年づくりのための活動も広がっていくと楽しみにしています。